

広幅／定尺金属横葺屋根

MS タフワイド"220 (12尺)

● 定尺横葺 12 尺ワイドタイプ

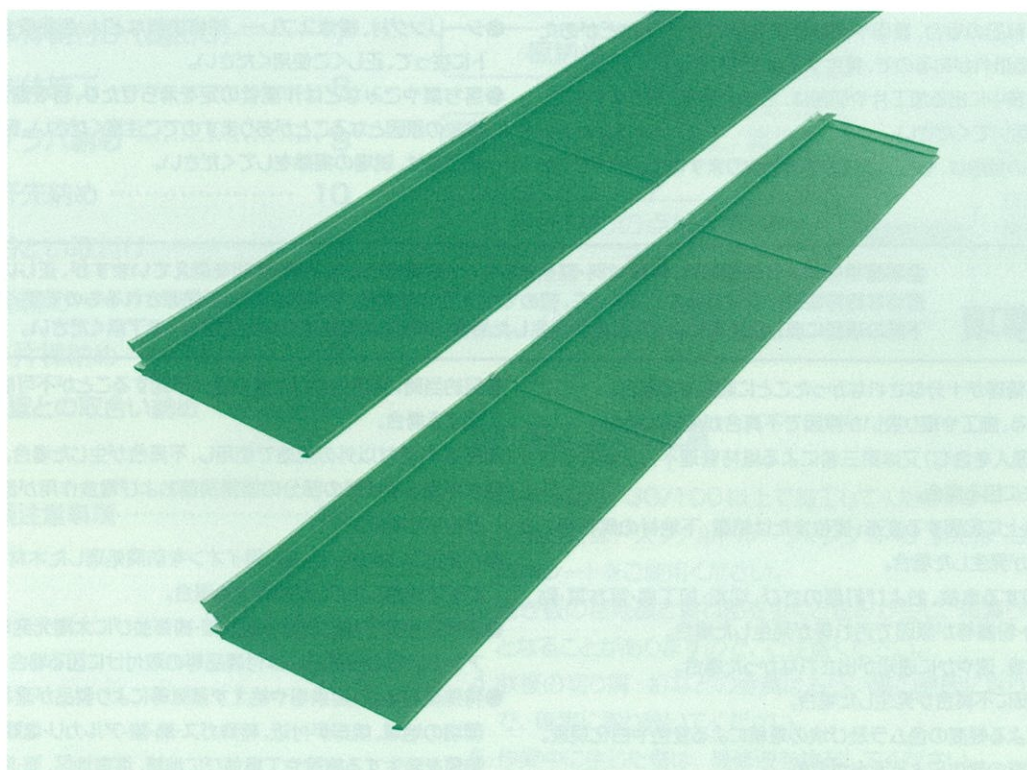
MS 1½ワイド"220 (6尺)

● 定尺横葺 6 尺ワイドタイプ

施工の手引

保存用

ファイルしてご使用して下さい



⊙ 月星商事株式会社

安全上のご注意(必ずお守りください)

⚠ 警告 この表示の欄は、「取り扱いを誤ると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

- 高所作業を伴いますので、転落による事故防止のため、高所作業の正しい服装と保護具を着用し、足場の点検を行ってください。
- 2メートル以上の高所作業は、安全ベルト、命綱の携帯が法律で規定されています。事故の可能性がありますので、関係法規に従ってください。
- 金属製屋根・外装材ですので、けがを防止するために、必ず作業手袋を着用してください。
- 強風・雨天・降雪・雷鳴時の場合は施工しないでください。落下または落雷事故の恐れがあります。
- 雨や露で屋根面がぬれている場合は、施工しないでください。滑り落ちる恐れがあります。
- 金属屋根や金属部材は、電線等に触れないように取り扱いください。感電の恐れがあります。
- 固定していない屋根材・役物の上には絶対に乗らないでください。
- 屋根上での歩行は、屋根材に過度の付加が加わらないように注意してください。
- 葺き上げた屋根面には物を置かないでください。ルーフィング上に屋根材を置くときは、安全を確認して滑り落ちないように固定してください。

⚠ 注意 この表示の欄は、「取り扱いを誤ると、人が傷害を負う危険または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

- 製品の屋外保管の場合は防水シートで覆い、雨水に濡れないようにしてください。
- 防水のため施工の際は、葺き板の働き幅による正確な割付を行ってください。
- 屋根材は風で吹き飛ばされないように設置してください。また風の吹いているときに持ち運ぶ場合、あおられないよう、足元を固めてください。
- 断熱材貼り製品の場合、裏面や切断面に溶接の炎、火花などがあると引火する恐れがあるので、養生するなど特にご注意ください。
- 屋根上で作業中に出る加工片や切粉は、さびの原因となりますので、確実に取り除いてください。
- 異種金属との接触は、もらいさびの原因となりますので、避けてください。
- 現場加工時に、鉄板の切断面に生じたバリは、けがをする可能性がありますので取り除いてください。
- 下葺き材はアスファルトルーフィング940またはゴムアス防水シート以上の品質のものを使用してください。
- 施工したあとの屋根面の塗装に傷がつかないように注意してください。もし傷をつけてしまった場合は、必ず補修塗料で補修をしてください。
- シーリング材、補修スプレー、補修塗料などは、製品安全データシートに従って、正しくご使用ください。
- 落ち葉やごみなどは作業者の足を滑らせたり、目を傷つけたりして事故の原因となることがありますのでご注意ください。毎日の作業前・終了後は、現場の掃除をしてください。

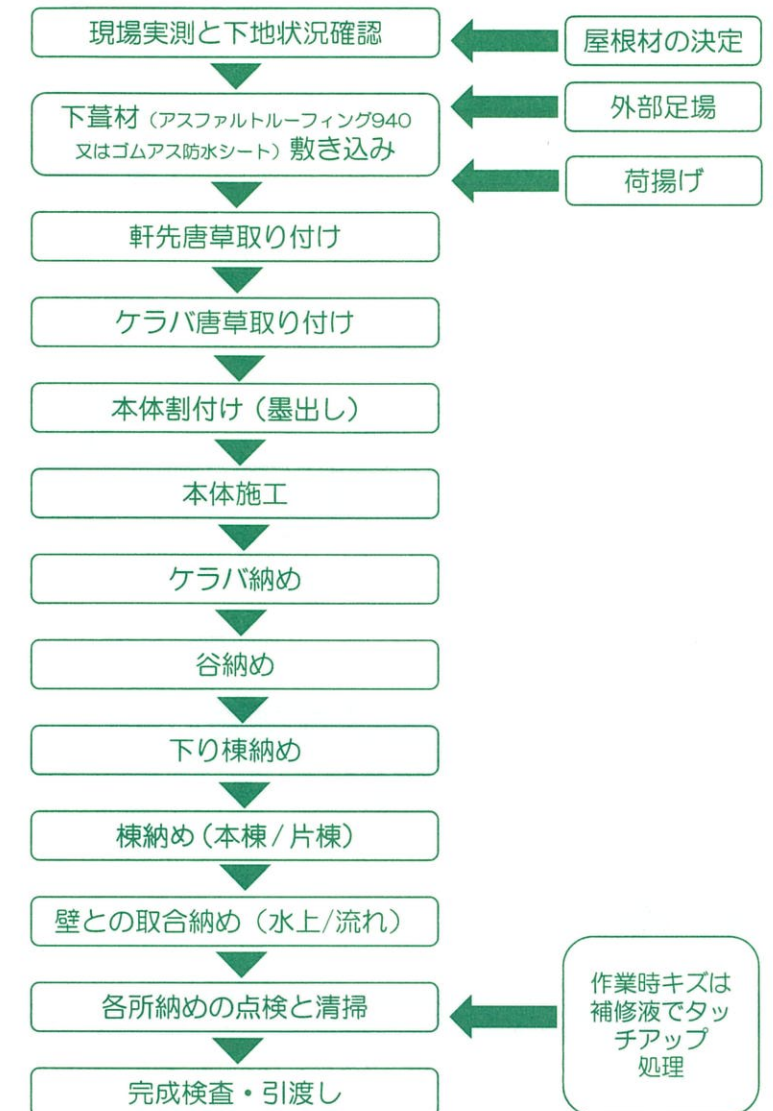
免責事項 金属屋根材および外装材は、建築材料・製品として、十分満足できる品質・性能を備えていますが、正しい施工と適切な維持管理がなされることによって、初めて耐久性や耐候性、その他の機能が発揮されるものです。下記の項目に反した使用により不具合が発生した場合、弊社では責任を負いかねます。ご了承ください。

- 貴社の施工管理が十分なされなかったことに起因する場合。
- 施工店による、施工や取り扱いが原因で不具合が生じた場合。
- 入居者(管理人を含む)又は第三者による維持管理不行き届き並びに故意・過失に因る場合。
- 建物の構造上に起因する変形、変位または結露、下地材の腐朽等による不具合が発生した場合。
- 施工に起因する事故、および釘部のさび、切粉・加工屑・落ち葉・動物の排泄物・粉塵等が原因で汚れ等が発生した場合。
- 瑕疵を発見後、速やかに通知が出されなかった場合。
- シーリング部に不具合が発生した場合。
- 経年変化による軽度の色ムラ及び埃の堆積による変色や白化現象。苔、藻、カビ等の発生による汚水や変色。
- 建築基準法および関係法規に違反した使用により不具合が生じた場合。
- 天変地異・周辺環境・大気汚染等公害・塩害等に起因する特殊環境下で不具合が生じた場合。
- 契約当時、実用化された技術では予測することが不可能な現象に起因する場合。
- 屋根・外装材以外の用途で使用し、不具合が生じた場合。
- 水が溜まる状態の部分の塗膜損傷および電食作用が原因で不具合が生じた場合。
- 不適当な他材料(銅、鉛、銅イオンを防腐処理した木材等)と組み合わせ使用したことによる起因する場合。
- 屋根工事後における増改築・補修並びに太陽光発電システムやアンテナ等の設置或いは付属品等の取付けに因る場合。
- 特殊環境地域(温泉場や絶えず蒸気等により製品が濡れている様な環境の地域、焼却炉付近、特殊ガス・熱・酸・アルカリ・塩類・その他腐食物質を発生する施設や工場並びに地域、塩害地区、海・河川等の周辺でしびきがかかるような地域、煙塵及び金属粉・石粉が堆積する地域)における損傷。
- その他弊社の責に因らない損傷に起因する場合。

その他ご不明な点がございましたら弊社にご相談ください。

[1] 施工の手順

(1) 段取りと施工の手順



(2) 施工上のご注意

1. 屋根勾配は、30/100以上で施工してください。
2. 下葺き材はアスファルトルーフィング940 または ゴムアス防水シートをご使用ください。
3. 葺き板の目地部と重ね部を歩くと歪みが生じ、雨漏りの原因となることがありますので、ご注意ください。
4. 鉄板の切り屑・釘などの金属はもらい錆の原因になりますので、確実に取り除いてください。
5. 作業中に生じた傷は、補修液を塗布してください。

[1] 施工の手順

- (1) 段取りと施工の手順 3
- (2) 施工上のご注意 3

[2] MS タフワイド220/ MS T₂ワイド220 製品仕様

- (1) 葺き板本体 4
- (2) 製品規格 4
- (3) 役物 (オプション) 5

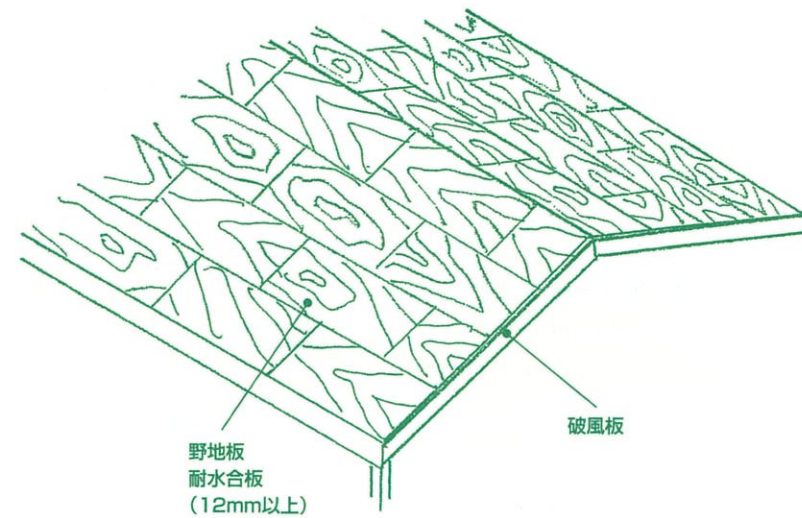
[3] 各部位の標準納め (例)

- (1) 現場実測 6
- (2) 軒先唐草 / ケラバ唐草の取付け 6
- (3) 下葺材の敷込み 7
- (4) 本体割付け (墨出し) 7
- (5) 本体施工 8
- (6) ケラバ納め 9
- (7) 軒先納め 10
- (8) 谷とい取付け 10
- (9) 棟納め 11
- (10) 片棟納め 12
- (11) 壁との取合い納め 13

●塗装鋼板注意事項..... 15

[3] 各部位の標準納め(例)

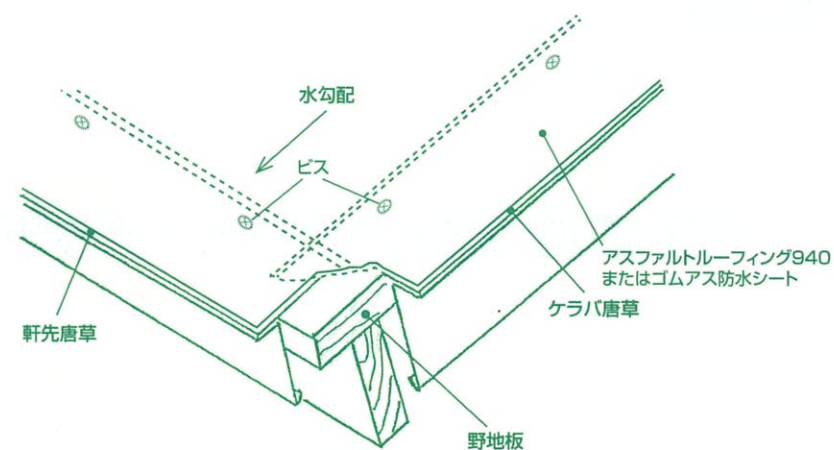
(1) 現場実測



■確認事項

- 屋根勾配 30/100以上
- 流れ・桁行きの寸法
- 野地板(耐水合板)の厚さ 12mm以上

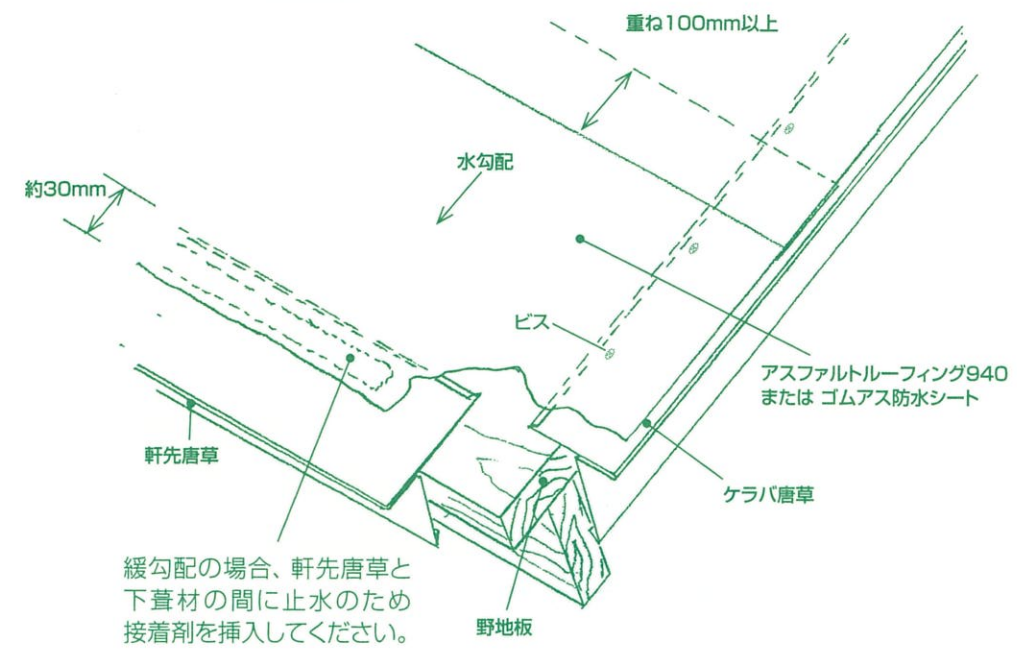
(2) 軒先唐草／ケラバ唐草 取付け



- 軒先唐草とケラバ唐草は野地板(耐水合板@12mm以上)に止め、軒先唐草とケラバ唐草の交点に注意し進入した雨水は軒先より流れ出るように施工してください。

- 軒先唐草とケラバ唐草の継ぎ手ジョイント部は50mm以上の重ねとし、重ね部は二重にシーリングを施してください。

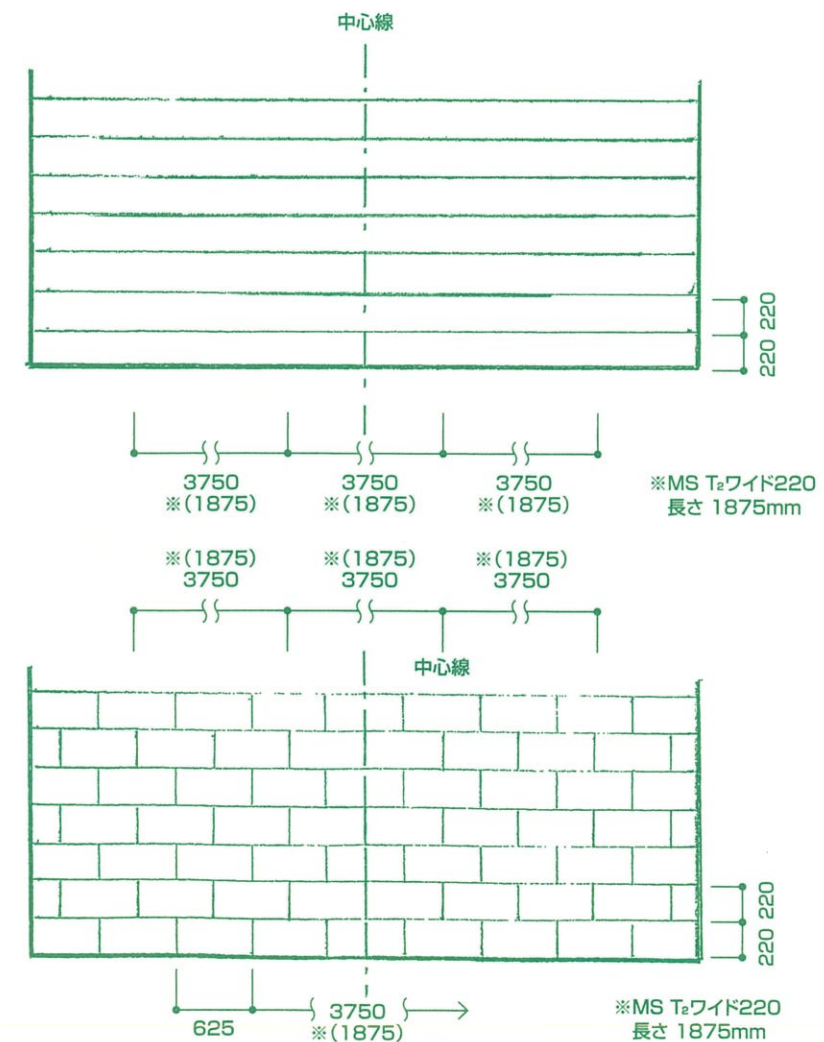
(3) 下葺材の敷込み



■確認事項

- 野地板(耐水合板@12mm以上)にアスファルトルーフィング940 または ゴムアス防水シートを敷き込みます。
- 防水材の重ね部は流れ方向に100mm以上桁方向の重ね部は200mm以上とします。
- ケラバ側は増張りにより防水性を高めてください。

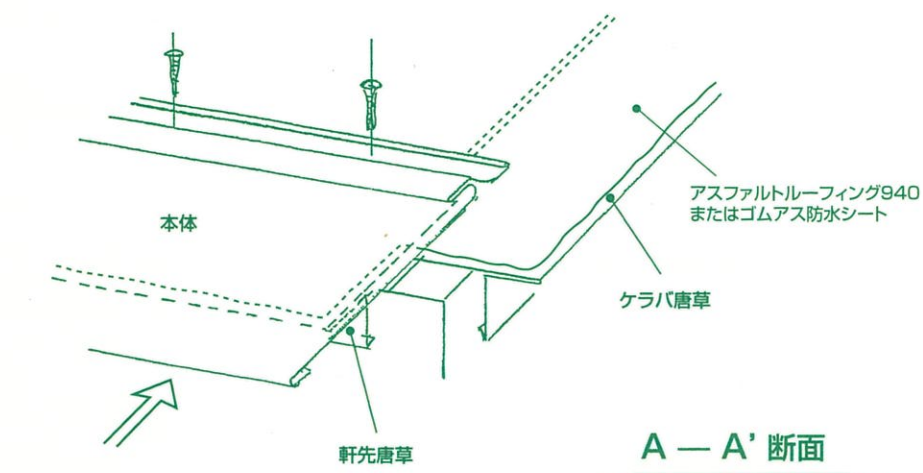
(4) 本体割付け(墨出し)



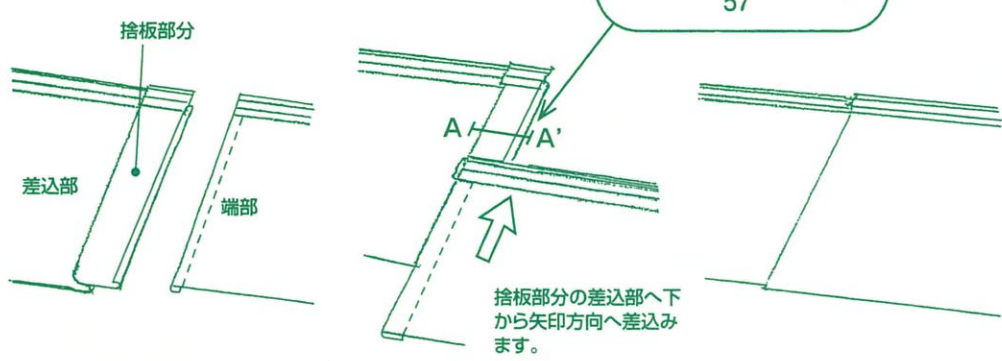
- 働き幅
MSタフワイド220 } 220mm
MS T₂ワイド220 }
- 長さ
MSタフワイド220 — 3750mm
MS T₂ワイド220 — 1875mm
- 屋根面の中心より振分けて両端部の寸法が同じ位置になるように墨出ししてください。
- 本体屋根材は割付に沿って中心線から左右に葺き分けます。

(5) 本体施工

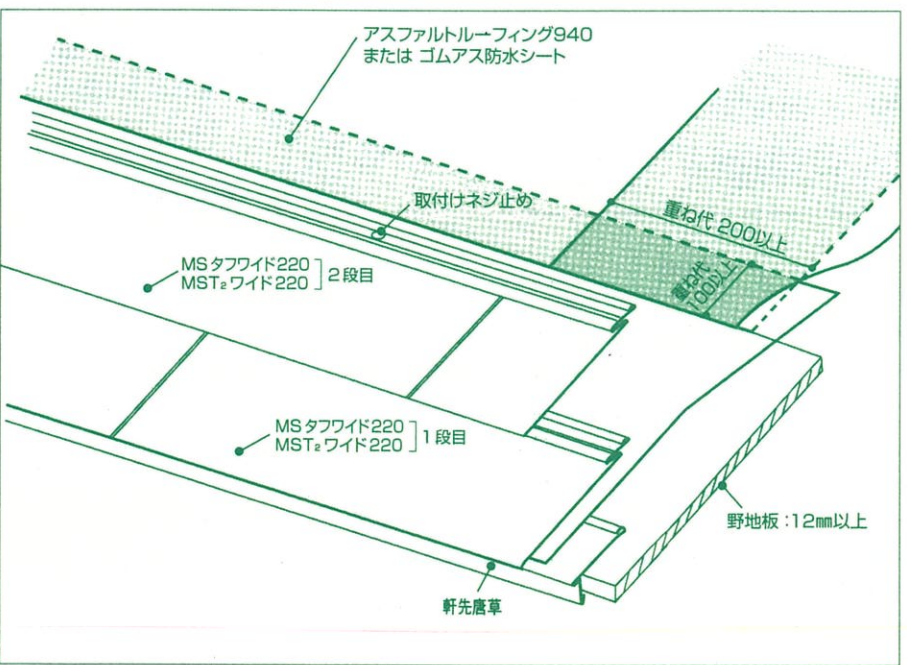
●本体取り付け



●ジョイント継ぎ手の納め



構成図 (例)



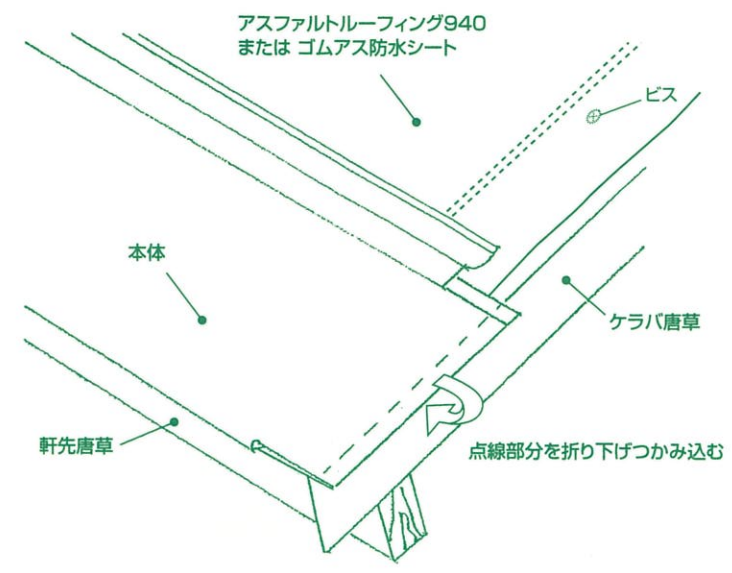
■確認事項

●軒先唐草に本体の先端を引っかけて、しっかりと奥まではめ込んでビスで固定します。

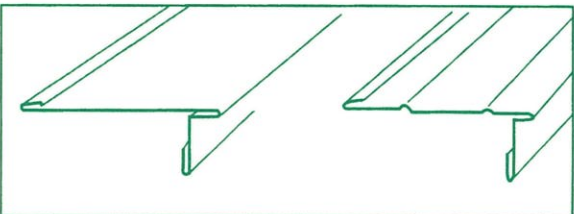
●捨板部分のジョイント部は確実にめ込んでください。トラブルの原因になります。

(6) ケラバ納め

■確認事項

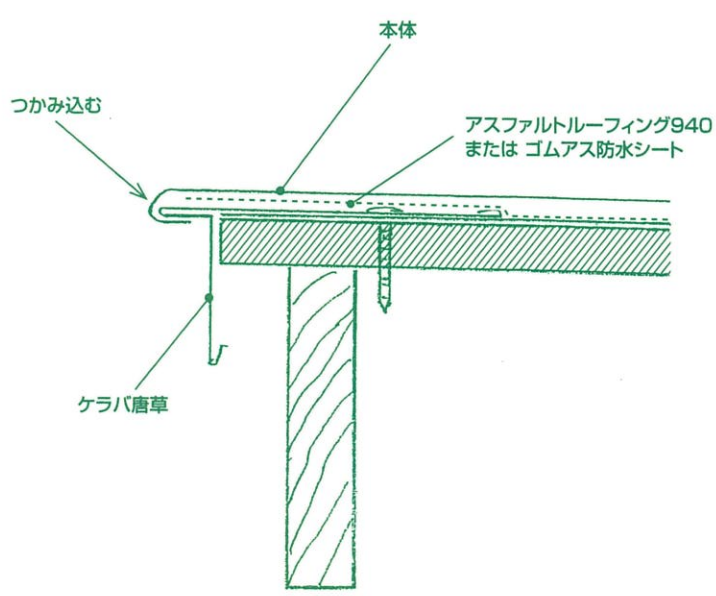


●ケラバ唐草 (オプション)



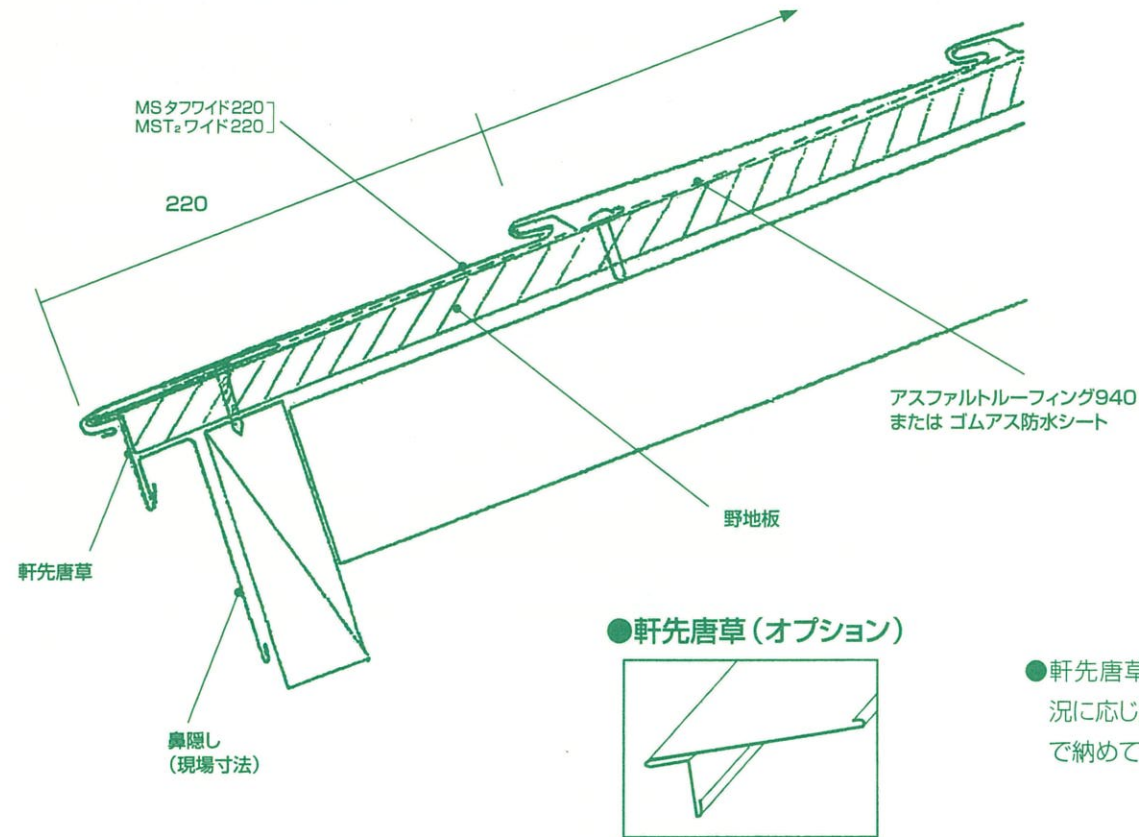
●ケラバは耐風圧を要求されるため、ビスは300mmピッチ以内で止めてください。

●強風地域ではより強固な固定方法を施してください。



(7) 軒先納め

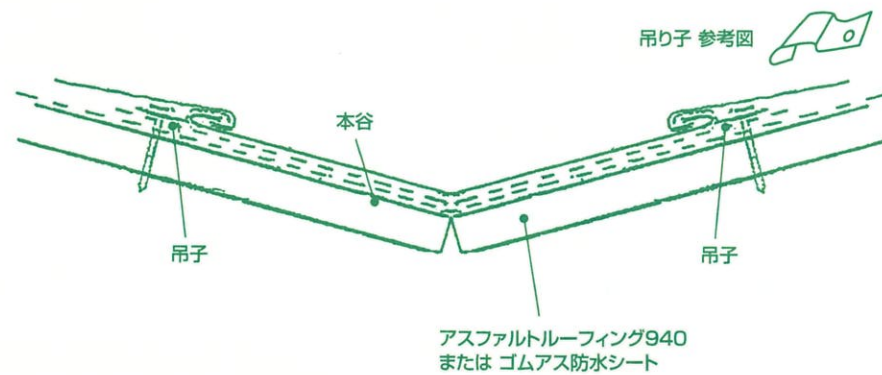
■確認事項



●軒先唐草 (オプション)

- 軒先唐草は、地域の気象状況に応じた形状 (オプション) で納めてください。

(8) 谷とい取付け



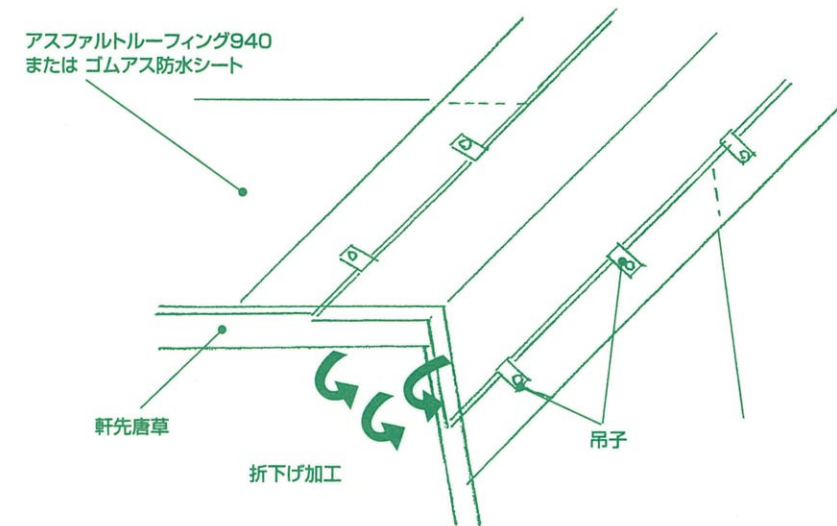
※谷といの現場対応例



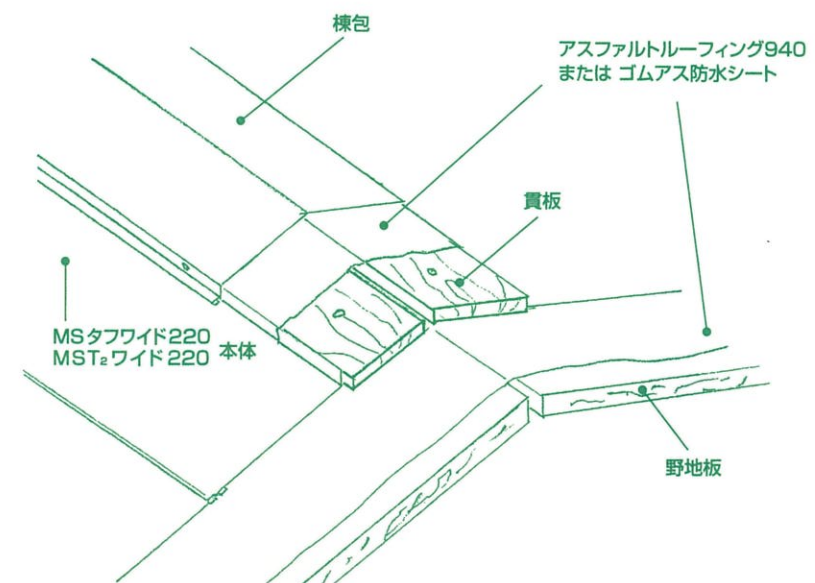
- 野地板にアスファルトルーフィング940 または ゴムアス防水シートを敷き込みます。
- 防水性を高めるため、さらにルーフィングで二重に増し貼することをお勧めします。
- 吊り子を用いて野地板に固定します。

■確認事項

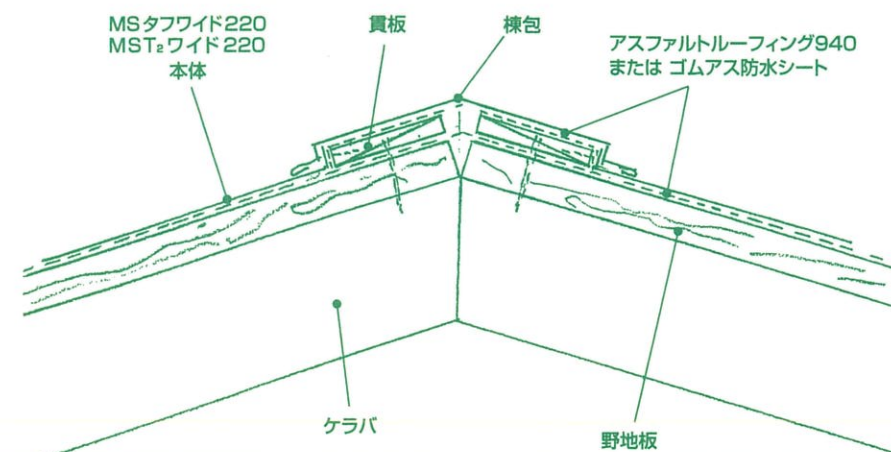
- 谷とい (現場寸法) を吊子を用いて止めつけてください。
- 水下部はつかみ工具で折下げ加工をしてください。



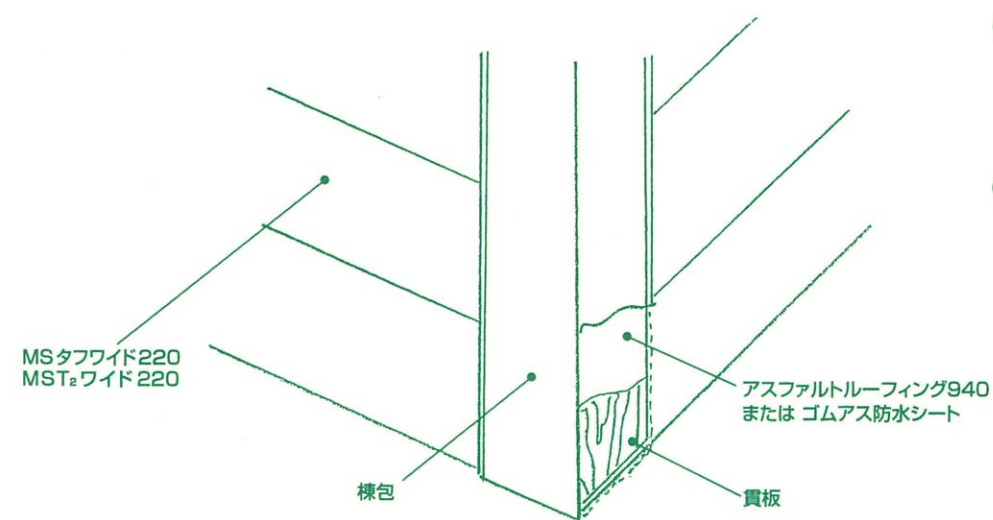
(9) 棟納め (本棟納め)



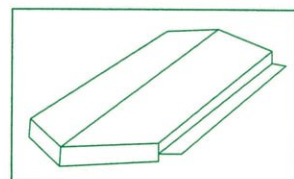
- 貫板は必ず防腐剤を塗って使用してください。
- アスファルトルーフィングは反対面まで通して敷き込み、棟部に隙間があかないようにしてください。



●下り棟（通し棟）



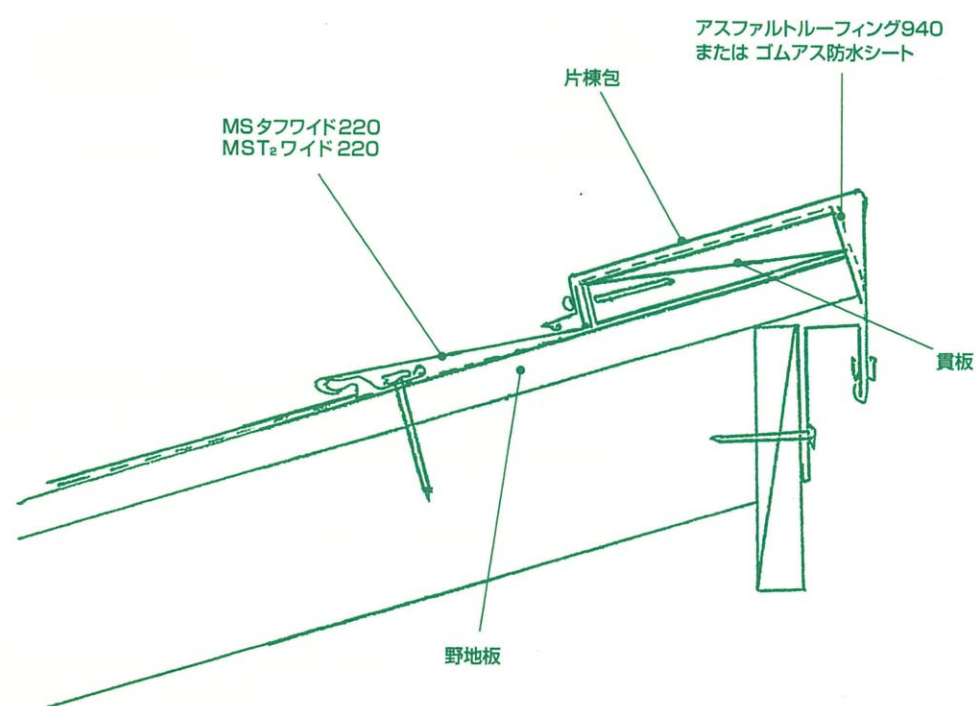
● 剣先



■確認事項

- 通し棟の水下部は折り返し加工を現物合わせにしてください。
- 剣先を使用する場合もあります。

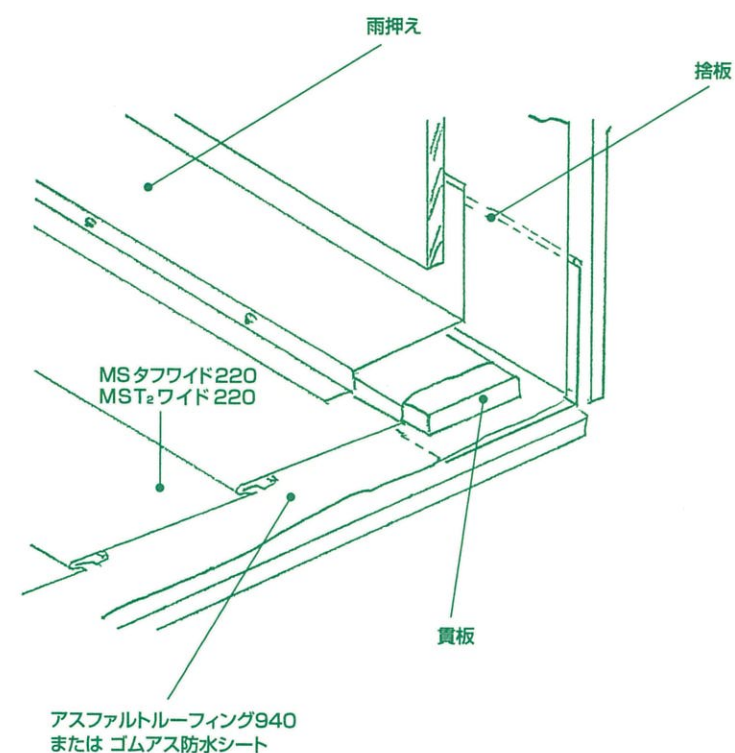
(10) 片棟納め



- 水上部の片棟は風対策を十分考慮してください。

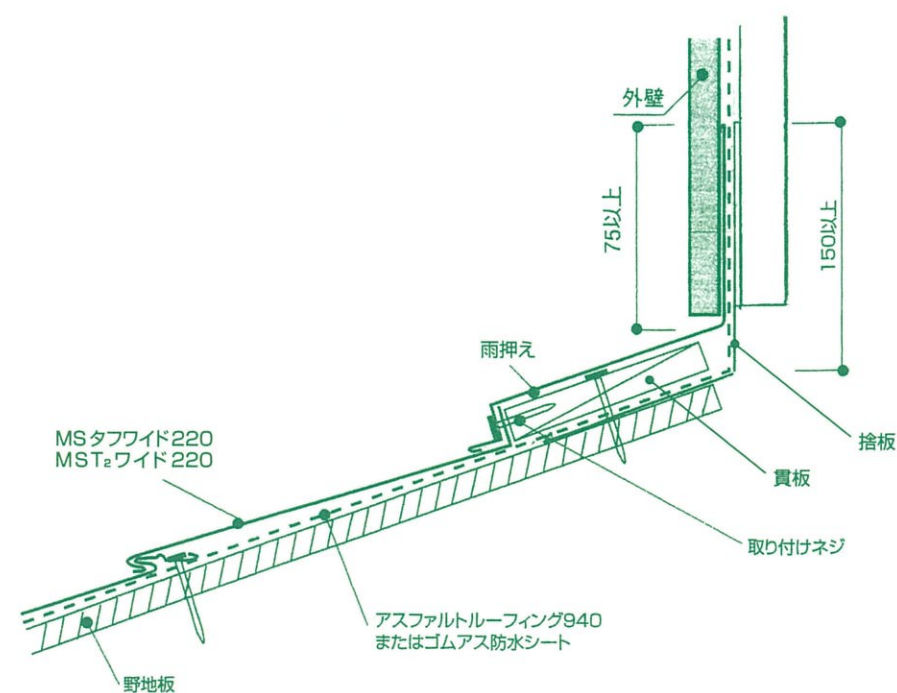
(11) 壁との取合い納め

●水平方向

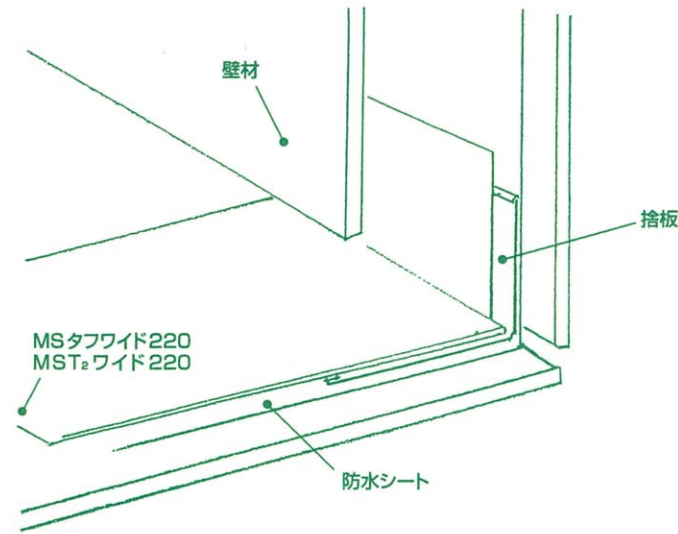


■確認事項

- 水平方向に捨板を取付け、貫板をその上に置き、さらにアスファルトルーフィング940 または ゴムアス防水シートを敷き込んで雨押えを取り付けます。



●流れ方向



- 流れ方向に捨板を取付け、防水シートを敷込んで、葺き板本体を立ち上げます。

(注)この施工の手引きは標準施工例です。屋根材、役物等の納めについては、各地域の気象環境に応じて施工してください。

■確認事項

■塗装鋼板注意事項

月星GLカラー／SELIOS、月星GLカラーつや消し／SELIOS
で使用に際して

1. 混合使用

●同じ色彩の塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板でも製造メーカー、種類により特性値が異なり、年月を経ると外観に差異が生じることから同一建物での混合使用は絶対に避けて下さい。

2. 扱い疵

●成形・運搬・施工時、表面にスレ疵、カキ疵が付く場合がありますので、取扱いには十分注意して下さい。

3. 塗料を剥がす場合

●ハンダ付け等で塗膜を剥がす必要がある場合、剥離剤による方法がありますが、強い溶剤を含んでおり、剥離作業後の水洗が十分でないと、後に塗る塗膜を極端に傷めますので、水洗は十分に行ってください。

4. 加工時のクリアランス

●呼び厚さは原板厚さを言いますので、加工時のクリアランスはめっきの厚さ及び塗膜の厚さを考慮の上、適正なクリアランスを設定して下さい。

5. 成形ロールの手入れ

●成形加工は、一般カラーと全く同様にできますが、良好な仕上がりを得るためには成形機の錆び落としなどの手入れをお願い致します。

6. 施工後の注意

●施工時に発生した切屑等は「もらい錆び」の原因となりますので、切屑は除去して下さい。
●軒下近傍等の雨掛かりし難い部分については、腐食原因物質が付着し黒い変色に至る場合がありますので、定期的に水洗いすることをお勧めします。
●防汚機能は、雨水等によって濡れることによりその性能を発揮しますので、施工直後に散水によって塗膜表面を濡らすことを推奨します。

7. 補修塗装について

●塗料を剥した部分、著しい疵部分等、補修塗装する場合は補修塗料を使用して下さい(補修塗料は最寄りの販売代理店へ請求して下さい)。補修塗料はそのまま使用できるように調合してありますので、十分に攪拌し、溶剤希釈せず直接刷毛等で塗布して下さい。

8. 月星GL カラーつや消し／SELIOS(セリオス)の場合

●月星GLカラーつや消し／SELIOS(セリオス)は、ポリエステル系塗料に特殊なつや消し剤を添加したものを塗装し、梨地肌の完全つや消し仕上げの製品外観(光沢が低く、表面粗度が大きい)にしているため、一般カラーと比較すると雪が滑りにくいとされます。このため、月星GLカラーつや消し／SELIOS(セリオス)を屋根にご使用いただく場合には、この点を十分ご配慮の上ご使用願います。

塗膜の経時劣化について

■塗膜の劣化過程

SELIOS(セリオス)は、屋根・外壁などに施行されて年月を経るに従って、太陽光線、雨露、気温、大気中に含まれる亜硫酸ガスなどによりこのような過程を辿って塗膜の劣化が進みます。



■SELIOS(セリオス)の一生と塗り替えサイクル

SELIOS(セリオス)は適正な時期に手入れを行い、若返りの処置を施せば、寿命は飛躍的に伸び、軽くて強く、美麗で経済的な外装建材としてご使用いただけます。

塗り替えは、「色褪せ」「チョーキング(白亜化)」が起こり「フクレ」が発するまでに行えば理想的です。

塗膜の劣化は使用地域、建物の環境などによって異なりますので、できれば年1回点検することをお奨めします。また、点検は、軒先、軒下、釘打ち部分、加工部などのさび易い部分を重点に行ってください。

塗り替えに当たっては、雨、雪、霜、結露で濡れたり凍ったりしますと塗装仕上がりが悪く、塗料の性能を十分に発揮できませんので、気象条件を考慮してください。

※チョーキングとは、チョーク(白粉)をガーゼでこすると粉状のものが付着しますが、このような状態に塗膜表面が変化することをチョーキング(白亜化)と呼んでいます。

9. 防腐・防蟻処理木材との長期接触による腐食の防止について

●防腐・防蟻剤(主に銅系の薬剤を使用)した木材や合板は、めっき鋼板や塗装鋼板の耐食性に影響をおよぼしますので、防腐・防蟻処理を含む木材との接触は避けて下さい。直接木材や合板に接触する部分(軒下、けらば、棟包み、水切り、降り棟、谷部、目地等)には絶縁用下葺(ルーフィング材またはプチルテープ等)をご使用下さい。

10. メタリック色の角形スバンドレル(クスパン)への使用について

●メタリック色は、光線の正反射性が強い傾向にあります。そのため、僅かな材料の歪みや角度の違いによって見かけ上に明暗が生じ、色ムラに見えます。従って角形スバンドレル(クスパン)でメタリック色を選択される際には、ご注意願います。

保証規格

1. 保証内容 建築施工後、材料の腐食による穴あき及び赤錆がないこと。

2. 保証期間 建築施工後10年間とします。

3. 保証条件 1)適切な環境で使用されていること。
2)加工・施工・設計が適切に実施されていること。

4. 補償方法 当社が定めた内容によります。

◆保証の詳細は、当社営業窓口または、特約店へお問い合わせ下さい。

保証対象外について

●SELIOS(セリオス)については、従来材と比較した機能の向上を製品特徴としてうたったものであり、機能(遮熱、防汚、耐疵)を保証するものではありません。

●弊社製品の保証内容は、鋼板の穴開き及び赤錆に関するものであり、塗膜のみに限定された保証(塗膜のフクレ、ハガレ、変退色)は行っておりません。

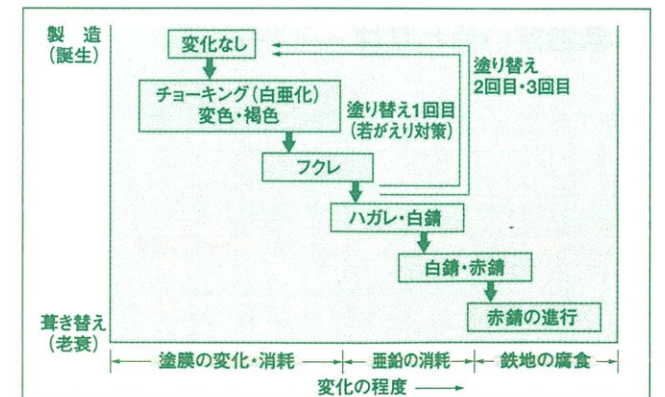
不適切な使用例

1. 環境例

●塩害、亜硫酸ガス、アルカリなどの影響がある場合。
●鉄粉など付着した場合。
●湖沼、河川などの周辺で常に水しぶきがかかる場合。
●天災地変、災害など、その他不可抗力による損傷が発生した場合。

2. 加工・施工例

●施工後に外力、加工屑などの飛来による損傷があった場合。
●加工時、施工時に損傷が発生した場合。
●防腐剤、防蟻剤を含む木材との長期接触があった場合。
●葺工法毎に許容される屋根勾配を無視した場合。



日新製鋼ホームページ/セリオスより

月星商事株式会社

本社 〒104-8533 東京都中央区八丁堀4丁目4番2号

営業 TEL:03(3551)2121 FAX:03(3552)4079

<http://www.tsukiboshi-shoji.co.jp>

大 阪 支 店	TEL.06(6462)0202	FAX.06(6462)4466
福 島 支 店	TEL.0247(62)6211	FAX.0247(62)6220
北 関 東 支 店	TEL.0270(65)3311	FAX.0270(65)6784
小 山 支 店	TEL.0285(49)2311	FAX.0285(49)2317
埼 玉 支 店	TEL.048(728)9111	FAX.048(728)8585
土 浦 支 店	TEL.029(831)8022	FAX.029(831)8010
千 葉 支 店	TEL.043(259)0511	FAX.043(259)2005
神 奈 川 支 店	TEL.046(263)2020	FAX.046(263)2035
静 岡 支 店	TEL.0548(22)5241	FAX.0548(22)5631
名 古 屋 支 店	TEL.0561(31)0061	FAX.0561(31)0063
兵 庫 支 店	TEL.0790(22)5271	FAX.0790(22)5262
山 梨 営 業 所	TEL.055(284)1261	FAX.055(284)1263
高 松 営 業 所	TEL.087(806)3311	FAX.087(806)2236
和 歌 山 営 業 所	TEL.073(471)6591	FAX.073(471)6593
福 岡 営 業 所	TEL.092(939)5700	FAX.092(939)5703

■お問い合わせは —————